



Building materials



Chemicals



Ceramics



2025年 12月15日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 布川 明
(証券コード：4026)

2026年4月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料 ～決算概要～

KONOSHIMA

I 2026年4月期 第2四半期(中間期) 業績 2

- 1. 業績概要 3
- 2. 営業利益分析 4
- 3. セグメント別業績 5
- 4. 財政状態 7
- 5. キャッシュ・フローの状況 8

II 2026年4月期 業績予想 9

- 1. 2026年4月期 業績予想 10

III 中期経営計画(ローリング)
ー2026年4月期～2028年4月期 11

- 1. 計画概要 12
- 2. 2026年4月期～2028年4月期 業績計画 13
- 3. 化成品事業：セラミックス 14
- 4. 化成品事業：マグネシウム 15
- 5. 窯業系建材事業 16
- 6. ゼロCO2の実現に向けた取組み 17
- 7. 資本コストや株価を意識した経営指標 19

IV 株主還元 20

- 1. 株主還元 21

V 補足資料 22

- 1. 当社について 23
- 2. 環境への取組み 35

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2026年4月期 第2四半期(中間期) 業績



I-1.業績概要

(単位：百万円)

	2025/4期 上期実績	2026/4期 上期実績	前年同期比		2026/4期 上期予想(※3)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	13,904	13,827	△77	△0.6%	13,500	+327	102.4%
建材	7,703	7,629	△73	△1.0%	7,500	+129	101.7%
化成品	6,200	6,197	△3	△0.1%	6,000	+197	103.3%
マグネシウム	5,243	5,316	+72	+1.4%	5,100	+216	104.2%
セラミックス	957	880	△76	△8.0%	900	△19	97.9%
営業利益	1,018	1,210	+191	+18.8%	940	+270	128.8%
建材(※1)	539	657	+118	+22.0%	520	+137	126.5%
化成品(※1)	886	1,013	+127	+14.3%	860	+153	117.9%
経常利益	982	1,156	+174	+17.7%	900	+256	128.5%
(経常利益率)	(7.1%)	(8.4%)	—	—	(6.7%)	—	—
当期純利益	706	803	+96	+13.7%	650	+153	123.5%
減価償却費	997	985	△11	△1.1%	985	+0	100.1%
EBITDA(※2)	2,015	2,196	+180	+9.0%	1,925	+271	114.1%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

※2 (営業利益+減価償却費)

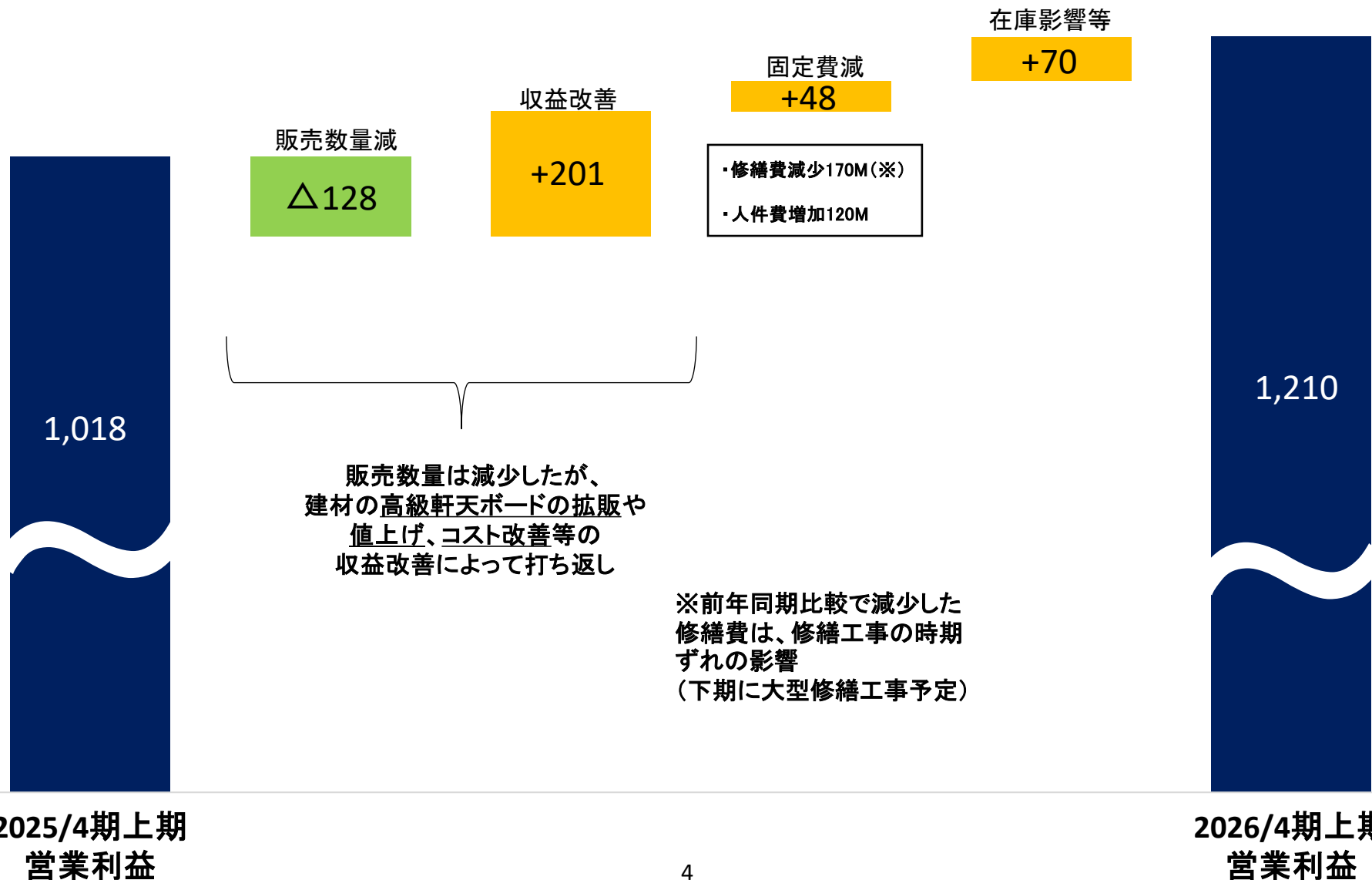
※3 公表日2025年6月11日

- ◇ 売上高は、建材事業(△1.0%)、化成品事業のマグネシウム(+1.4%)、セラミックス(△8.0%)
- ◇ 営業利益は、建材事業(+22.0%)、化成品事業(+14.3%)ともに増益
- ◇ 予想比は、全社売上高102.4%、当期純利益123.5%の達成率

I-2.営業利益分析

営業利益の増減要因(対前年同期比)

(単位：百万円)



I-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

(単位：百万円)

	2025/4期 上期実績	2026/4期 上期実績	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	7,703	7,629	△73	△1.0%
住宅	6,472	6,452	△20	△0.3%
高級軒天ボード	1,738	1,970	+231	+13.3%
(高級軒天比率)	(22.6%)	(25.8%)	—	—
非住宅	1,231	1,177	△53	△4.3%
(非住宅比率)	(16.0%)	(15.4%)	—	—
セグメント利益	539	657	+118	+22.0%

2026/4期 上期予想(※)	予想比	
	増減金額	達成率
7,500	+129	101.7%
6,405	+47	100.7%
—	—	—
—	—	—
1,095	+82	107.6%
(14.6%)	—	—
520	+137	126.5%

(参考) (単位：万戸)

新設住宅着工戸数	41.2	34.0	△7.1	△17.4%
----------	------	------	------	--------

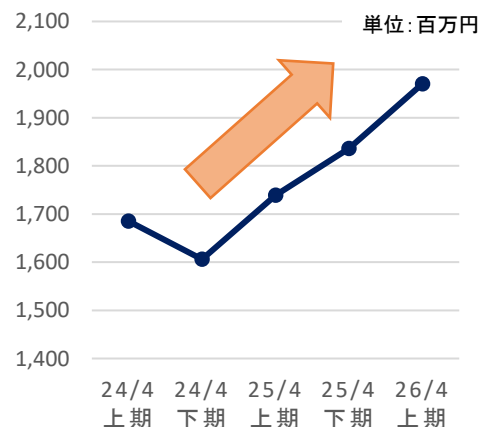
うち、戸建住宅は(持家+一戸建分譲住宅)前年同期比△14.4%

※ 公表日2025年6月11日

- ◇ 住宅分野は、プライケイカルの販売が減少したものの、高級軒天ボードの伸び(+13.3%)が寄与し、わずかな減収(△0.3%)
- ◇ 非住宅分野は、ビル工事遅れが続いており減収
- ◇ セグメント利益は、減収や燃料費・原材料費の上昇による影響があったものの、値上げ効果や高級軒天ボードの拡販、修繕工事の時期ずれなどにより、増益(+22.0%)

(参考)

高級軒天ボード売上高の半期毎推移



I-3.セグメント別業績【化成品事業】

(単位：百万円)

	2025/4期 上期実績	2026/4期 上期実績	前年同期比		2026/4期 上期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	6,200	6,197	△3	△0.1%	6,000	+197	103.3%
マグネシウム	5,243	5,316	+72	+1.4%	5,100	+216	104.2%
国内	2,264	2,266	+1	+0.1%	2,300	△33	98.5%
海外	2,978	3,050	+71	+2.4%	2,800	+250	108.9%
(海外比率)	(56.8%)	(57.4%)	—	—	(54.9%)	—	—
セラミックス	957	880	△76	△8.0%	900	△19	97.9%
セグメント利益	886	1,013	+127	+14.3%	860	+153	117.9%

※ 公表日2025年6月11日

- ◇ マグネシウムは、米国の関税政策による影響で、海外向けサプリメント用途の酸化マグネシウムが低調であったものの、工業用途の酸化マグネシウムの拡販により、増収(+1.4%)
- ◇ セラミックスは、レーザー用及び蛍光体の販売減少により減収(△8.0%)
- ◇ セグメント利益は、売上構成の変化や燃料費・原材料費の上昇による影響があったものの、値上げ効果やコスト改善等の収益改善により、増益(+14.3%)

I -4. 財政状態

(単位：百万円)

	2025/4期 期末	2026/4期 上期末	前期末比
現金及び預金	1,439	1,295	△144
売上債権	4,866	5,060	+194
棚卸資産	5,119	5,193	+74
建物、機械装置	13,652	12,991	△660
建設仮勘定	1,251	2,287	+1,035
資産計	30,731	31,335	+603
仕入債務	2,817	2,701	△115
借入金	8,924	9,256	+331
負債計	17,766	17,656	△110
純資産計	12,964	13,678	+713
負債・純資産計	30,731	31,335	+603
(自己資本比率)	42.0%	43.5%	+1.6%

I -5.キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2025/4期 上期	2026/4期 上期
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,377	1,309
実質営業キャッシュ・フロー	1,953	2,126
税引前当期純利益	956	1,140
減価償却費	997	985
運転資金キャッシュ・フロー ※1	△370	△384
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△608	△1,496
固定資産の取得	△597	△1,496
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△438	42
借入金純増減(減：△)	△159	331
配当金の支払	△190	△199
4. 現金・現金同等物増減(減：△)	330	△144
5. 現金・現金同等物当期末残高	1,505	1,295

※1 運転資金キャッシュ・フロー = 売上債権増減 + 棚卸資産増減 - 仕入債務増減

Ⅱ 2026年4月期 業績予想



Ⅱ-1.2026年4月期 業績予想

通期全体の業績予想に変更はありません（予想公表日：2025年6月11日）

（単位：百万円）

	2025/4期 通期実績	2026/4期 通期予想	上期実績	下期予想	2025/4期 通期実績比 増減金額	増減率
売上高	27,405	28,100	13,827	14,272	+694	+2.5%
建材	15,090	15,400	7,629	7,770	+309	+2.1%
化成品	12,315	12,700	6,197	6,502	+384	+3.1%
マグネシウム	10,414	10,600	5,316	5,283	+185	+1.8%
セラミックス	1,900	2,100	880	1,219	+199	+10.5%
営業利益	1,786	2,200	1,210	989	+413	+23.2%
建材（※1）	909	1,153	657	496	+243	+26.8%
化成品（※1）	1,669	1,911	1,013	898	+242	+14.5%
経常利益	1,718	2,100	1,156	943	+381	+22.2%
（経常利益率）	（6.3%）	（7.5%）	（8.4%）	（6.6%）	—	—
当期（四半期）純利益	1,433	1,500	803	696	+66	+4.7%
減価償却費	1,978	2,020	985	1,034	+41	+2.1%
EBITDA（営業利益+減価償却費）	3,764	4,220	2,196	2,023	+455	+12.1%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

- ◇ 建材事業は、高付加価値製品の高級軒天ボードやサイディングの拡販により増収見込
- ◇ 化成品事業は、海外向けの酸化マグネシウムやセラミックスの拡販により増収見込
- ◇ 下期は大型修繕が計画※2されているものの、通期は増益見込み

Ⅲ 中期経営計画（ローリング）

—2026年4月期～2028年4月期



・ 2026年4月期～2028年4月期 の経営戦略

(1) 基本方針

- ・環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立
- ・資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

(2) 基本方針に応じた活動内容

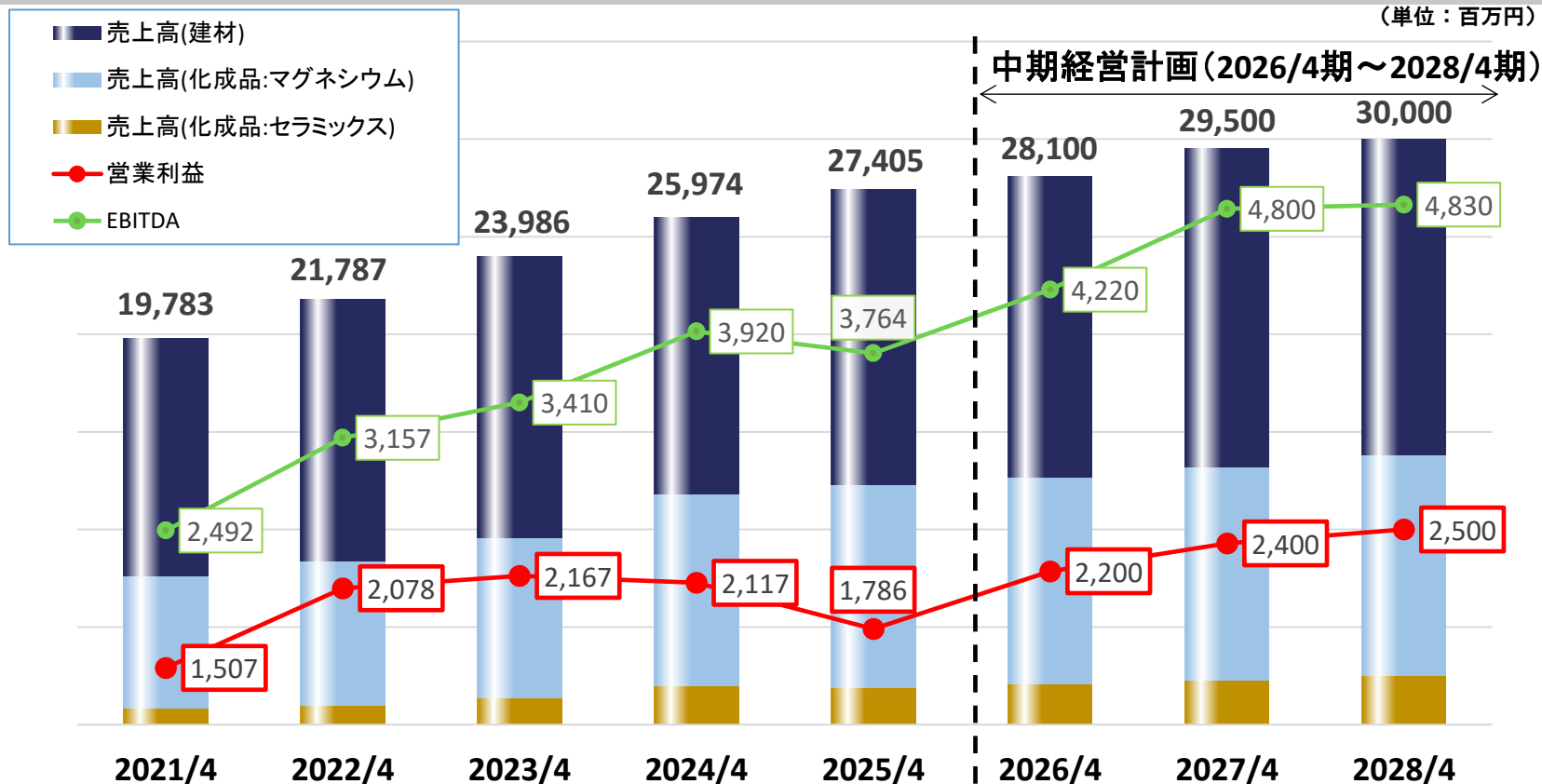
- ①2030年ゼロCO2※¹の実現に向け、排ガスCO2を回収・利用した商品の積極展開と共に、実用性の高いCO2リサイクル技術を幅広い分野へ展開
- ②セラミックスに代表されるコア技術の独創性を武器に、ハイエンド市場の需要創造
- ③AIを中心としたICT技術やKIP活動※²を深化させ、生産性向上や省人化を実現

※1 ゼロCO2: 自社工場内での排ガスCO2の排出をゼロにする当社独自の取組み

※2 KIP活動: 当社独自の生産性向上の取組み活動(Konoshima Innovation of Production)

Ⅲ -2. 2026年4月期～2028年4月期 業績計画

(単位：百万円)



売上高	19,783	21,787	23,986	25,974	27,405	28,100	29,500	30,000
建材	12,163	13,395	14,398	14,144	15,090	15,400	16,300	16,200
マグネシウム	6,765	7,415	8,236	9,838	10,414	10,600	10,900	11,300
セラミックス	855	976	1,351	1,991	1,900	2,100	2,300	2,500
営業利益	1,507	2,078	2,167	2,117	1,786	2,200	2,400	2,500
設備投資額	1,685	4,522	4,273	3,846	2,175	2,900	2,300	1,100
減価償却費	985	1,079	1,242	1,802	1,978	2,020	2,400	2,330

Ⅲ -3. 化成品事業：セラミックス

①中期経営計画(2026/4期～2028/4期)

(単位:百万円)

セラミックス	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	1,900	2,100	2,300	2,500	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光体、蓄冷材は堅調に推移 ・光学系、医療機器用小型レーザーなど民生用途の拡大 ・大出力レーザーの研究開発用途の増加

②重点項目

■ コア技術の独創性を武器に、顧客ニーズに合わせた更なる開発

⇒ 具体的事例: レーザー核融合の実現に向けた新素材開発を大阪大学レーザー科学研究所と共同研究

【実用化が期待される用途】

技術革新に不可欠なキーパーツとして研究開発用途に当社セラミックスを提供

大出力レーザー分野等での要求性能

<コア技術の独創性>

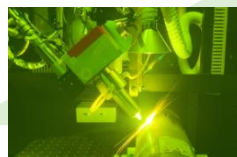
1. 透明・緻密化・大型化
2. ドーパント(蛍光成分)の高濃度化・均質化
3. 接合による複合化

単結晶では実現性が低い
領域への積極的アプローチ



医療機器用小型レーザー

レーザーピーニング



CFRP加工



宇宙太陽光発電

がん治療

車載用LiDAR



宇宙デブリの捕捉

グリーン水素

レーザー核融合
発電



大阪大学
「レーザー科学研究所100」
第6版より転載

2030年代: 発電実証
2050年代: 実用化

実用化の上積みにより事業の発展拡大

Ⅲ -4. 化成品事業：マグネシウム

①中期経営計画(2026/4期～2028/4期)

(単位:百万円)

マグネシウム	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	10,414	10,600	10,900	11,300	米国の関税政策の影響はあるものの、拡販により每期増加

②重点項目

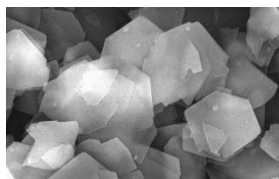
- 拡大する国内医薬市場やFSSC認定取得による北米向けサプリのシェアアップ（高利益品への販売シフト）
- 幅広い分野で開発の進む環境配慮型商品に不可欠な素材として拡販

【独自のコア技術による用途展開】

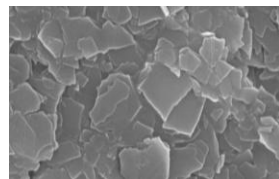


新規開発製品例

高アスペクト比粒子で分散性や配向性の高い板状ベーマイトや炭酸マグネシウム

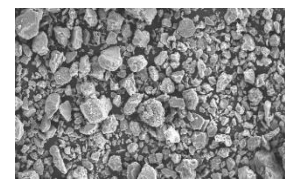


AlOOH



4MgCO₃・Mg(OH)₂・4H₂O

安全な元素から構成される無機層状化合物



Ⅲ -5. 窯業系建材事業

①中期経営計画(2026/4期～2028/4期)

(単位:百万円)

建材	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	15,090	15,400	16,300	16,200	<ul style="list-style-type: none"> ・2028年4月期は住宅着工減少の影響が強まり減収 ・CO2固定化建材に対する市場評価は、まだ不確かなため受注増加は最低限で織り込み

②重点項目

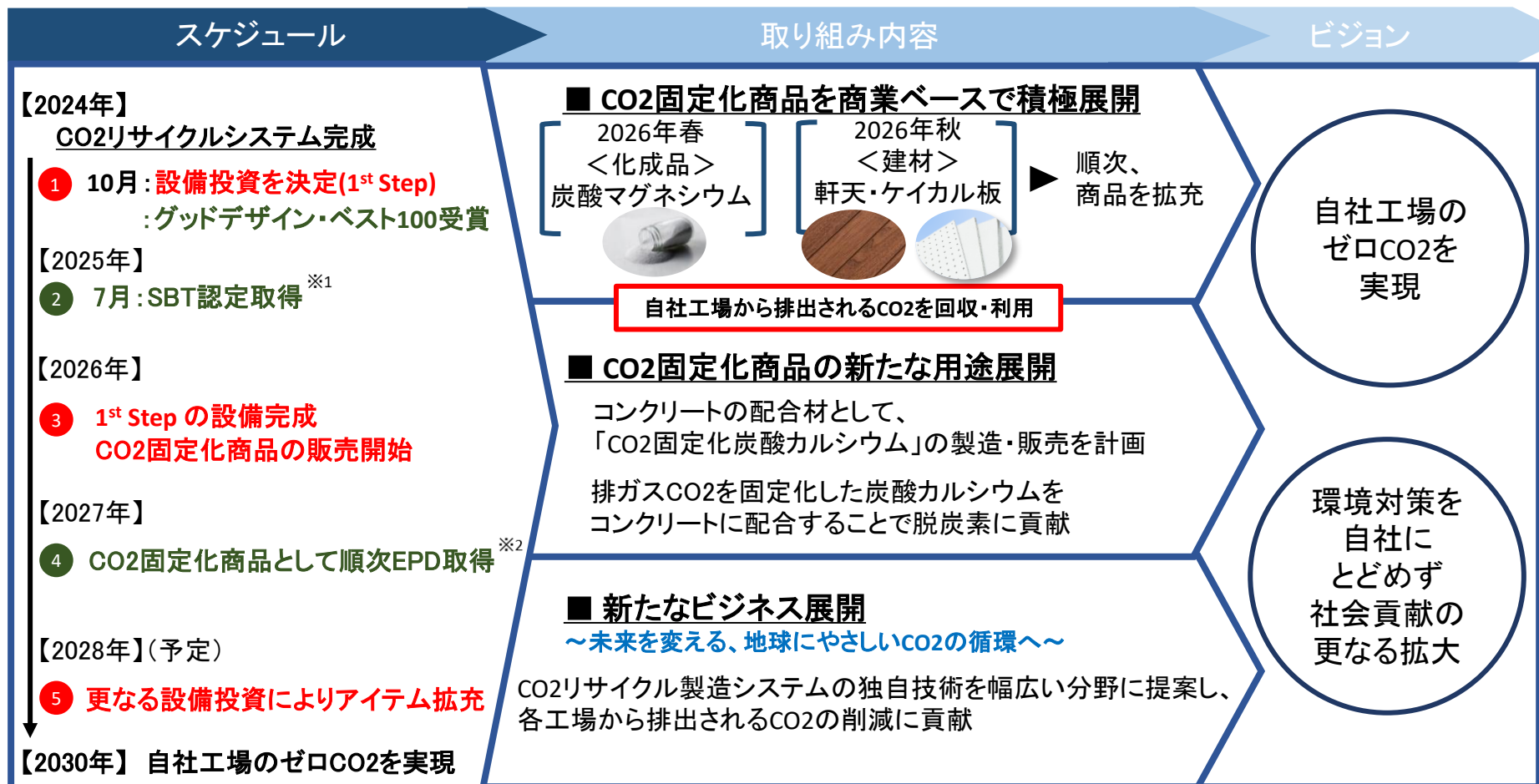
- 住宅市場と非住宅市場を専任する営業体制の二部化（各市場に合わせた重点課題に注力）
- 独創性ある商品やサービスによる需要創造・シェアアップとその後のCO2固定化建材の積極展開

【独自のコア技術による用途展開】



Ⅲ -6. ゼロCO2の実現に向けた取組み

排出するCO2を資源として有効利用。2026年度から商業ベースで積極展開



※1 SBT・・・パリ協定の目標に沿って企業が科学的根拠に基づき設定する温室効果ガス排出削減目標

※2 EPD・・・製品のライフサイクルにおける環境負荷を定量的に示した、ISO準拠の環境認証ラベル

Ⅲ -6. ゼロCO2の実現に向けた取組み

商業ベースへ向けた 設備建造が着実に進行中



1

2024年10月 設備投資を決定
グッドデザイン・ベスト100受賞

2

2025年2月 SBT認定取得をコミットメント
2025年7月 SBT認定取得

3

2026年春 ゼロCO2化成品 販売開始
2026年秋 ゼロCO2建材 販売開始



KONOSHIMA
CO2 RECYCLE
PRODUCTION
SYSTEM®



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

当社のNear-term
science-based
targetはSBTiにより承
認されています。



ゼロCO2化成品

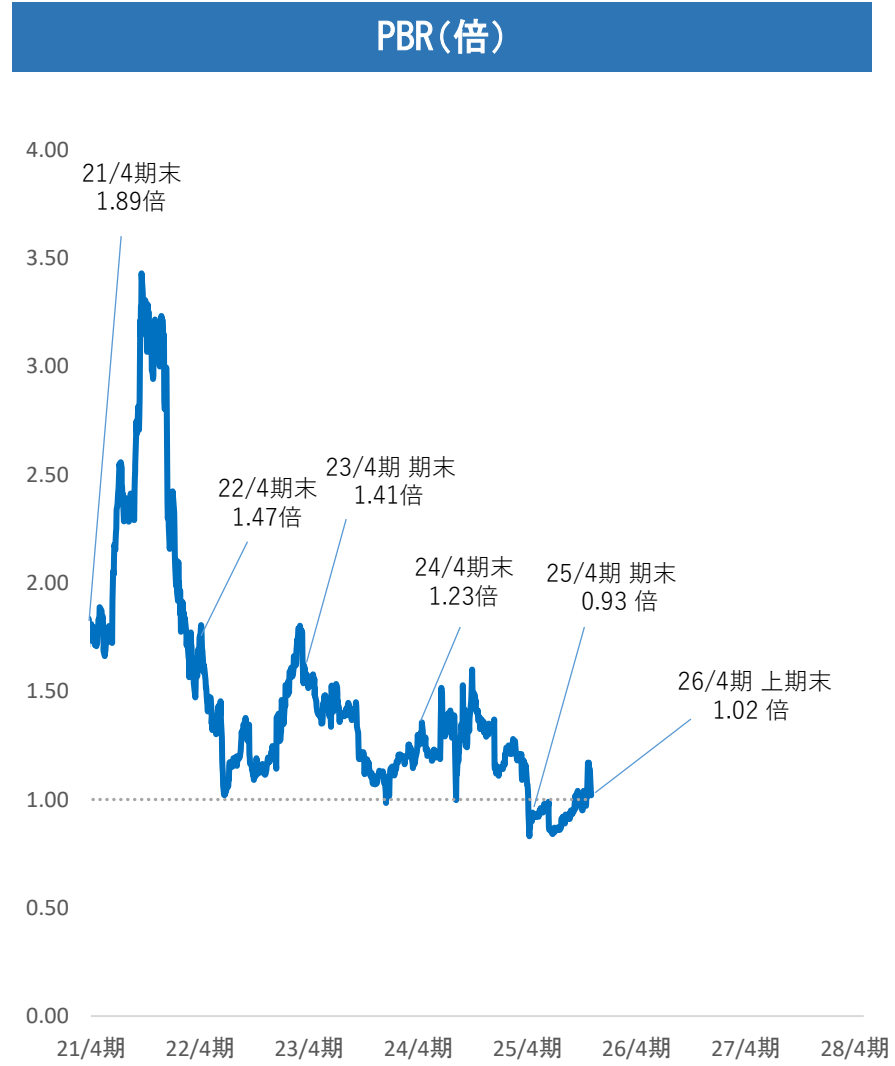
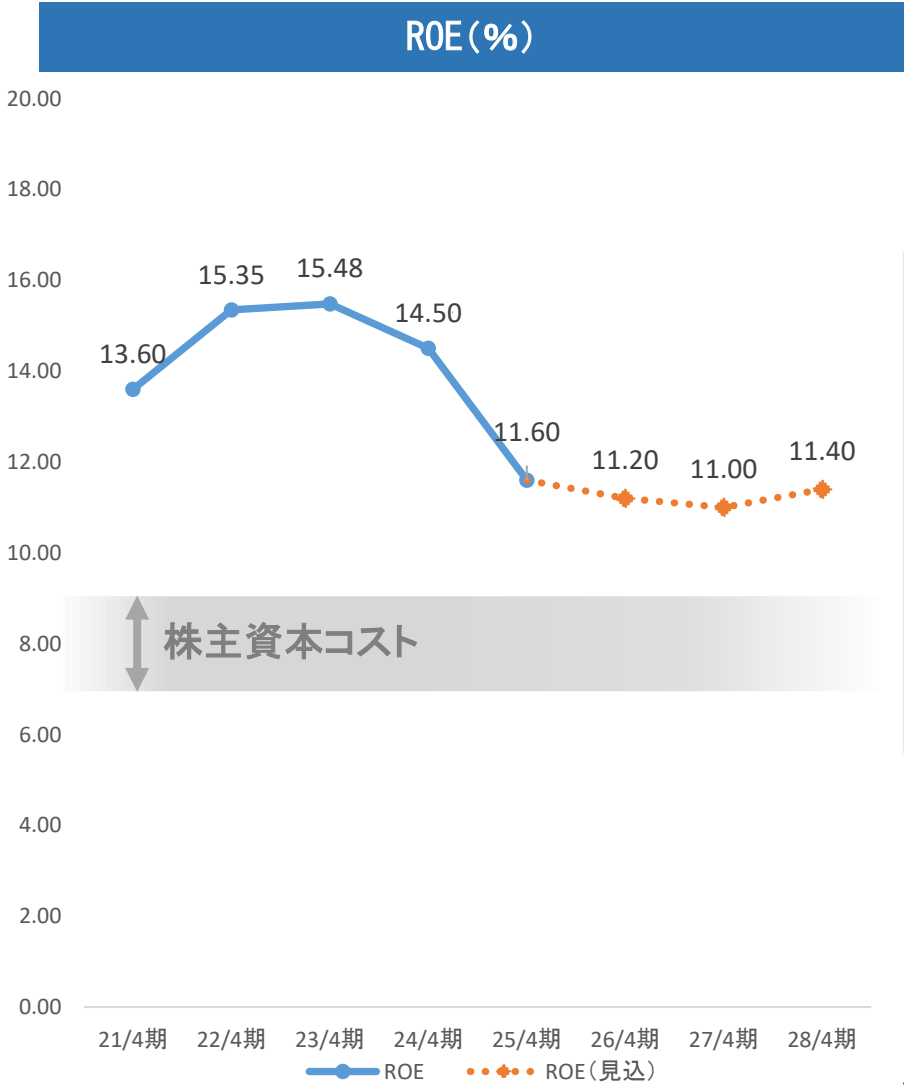


ゼロCO2建材

Ⅲ -7. 資本コストや株価を意識した経営指標

ROEは株主資本コストを上回る水準で推移

中期経営計画を達成し、PBRの向上に努める



IV 株主還元



IV -1. 株主還元

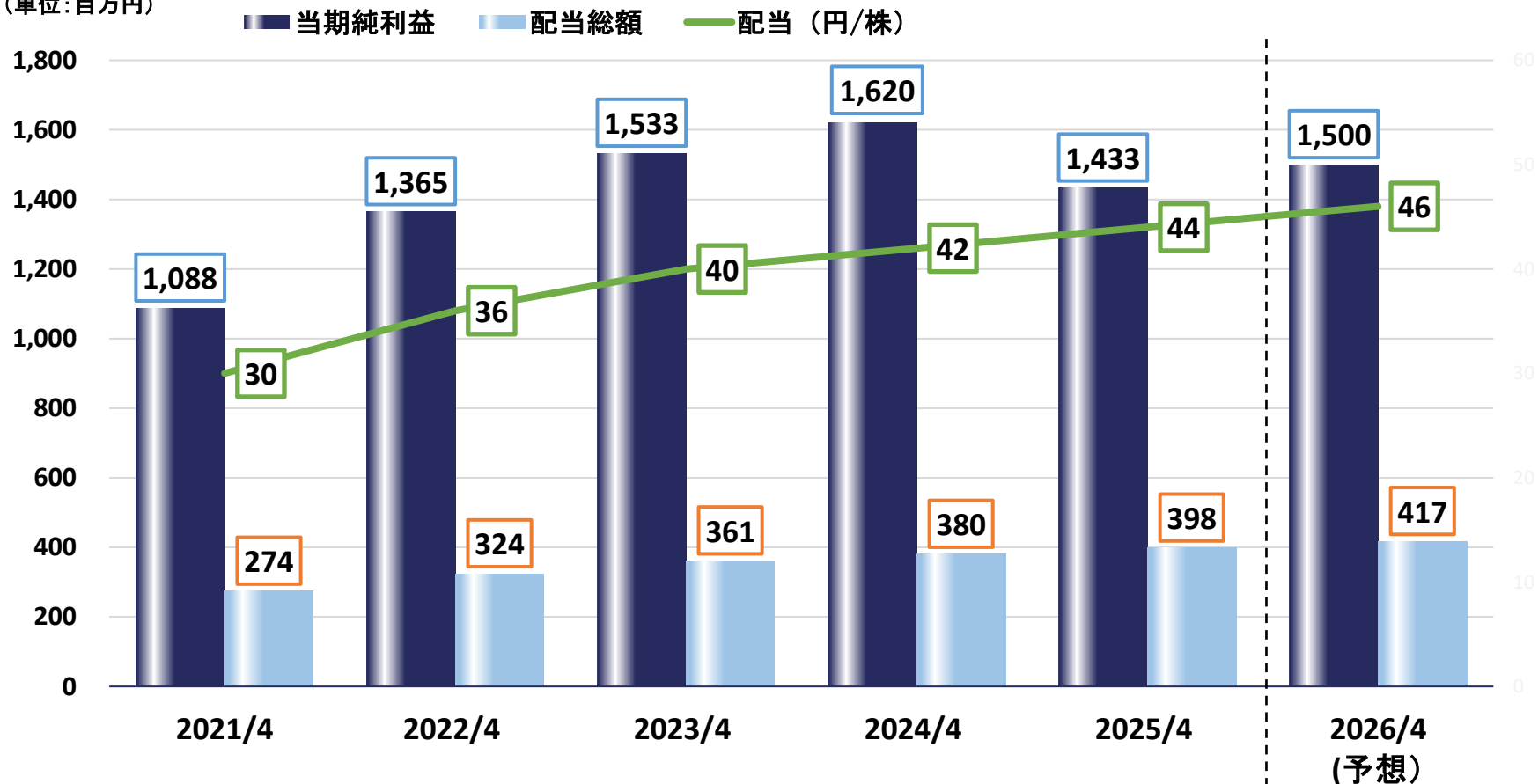
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保(設備投資資金)の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2026年4月期は、年間配当46円を予想

(単位:百万円)



配当性向	25.2%	23.9%	23.6%	23.5%	27.8%	27.8%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

V 補足資料



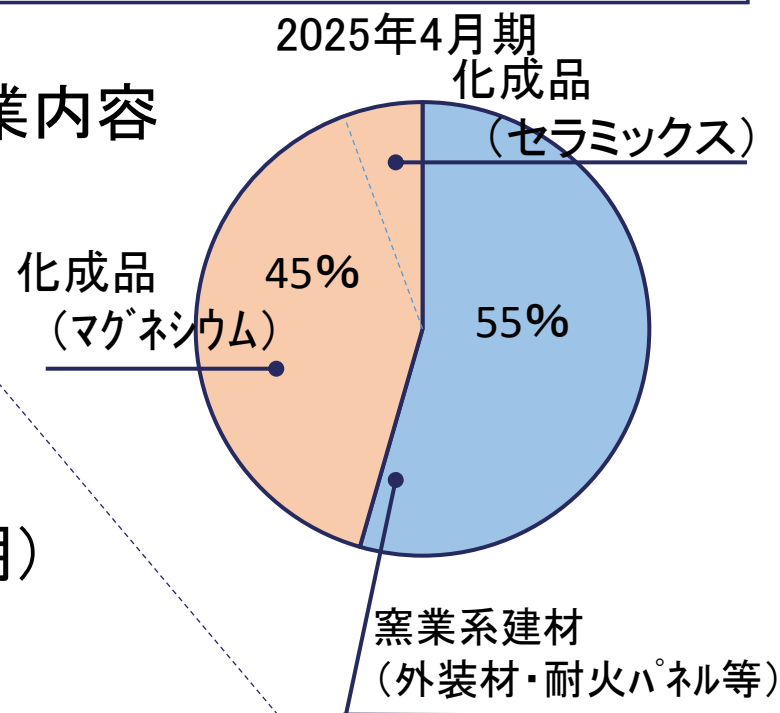
経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

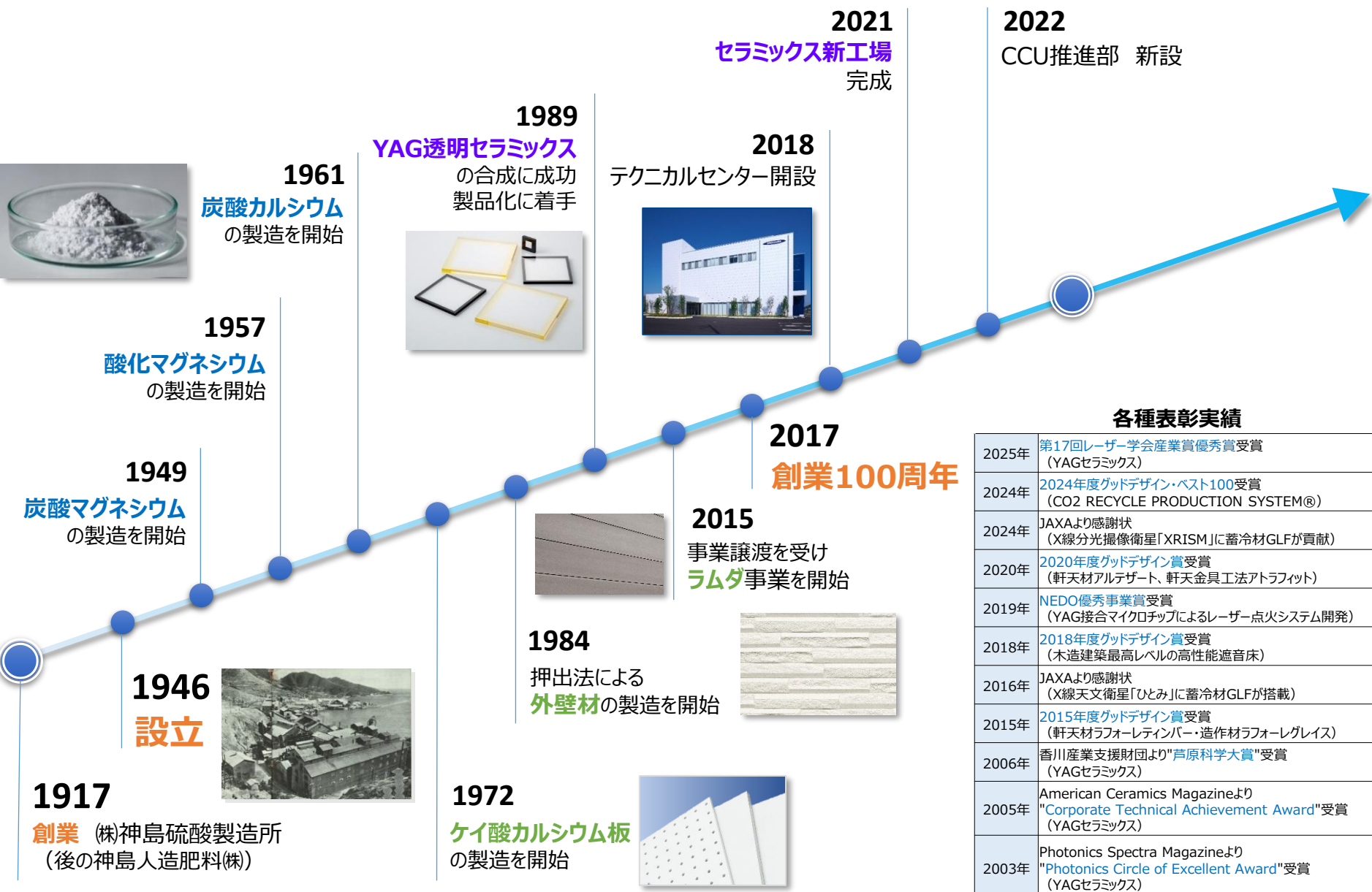
**「顧客満足を第一に考え、
より広くより深く社会に貢献する」**

創 業 1917年6月
設 立 1946年3月
資本金 13億20百万円
従業員 672名
売上高 274億5百万円（2025年4月期）
代表者 代表取締役社長 布川 明

事業内容



V -1. 当社について【沿革】



V -1. 当社について【拠点】



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 住宅建材分野

幅広いデザインに対応可能な外壁材
軒天との組み合わせもストロングポイント

特注色対応外壁

カタログ掲載**全柄**に顧客指定の**特注色塗装**対応
トレンドのフラット柄×ダークグレーが人気

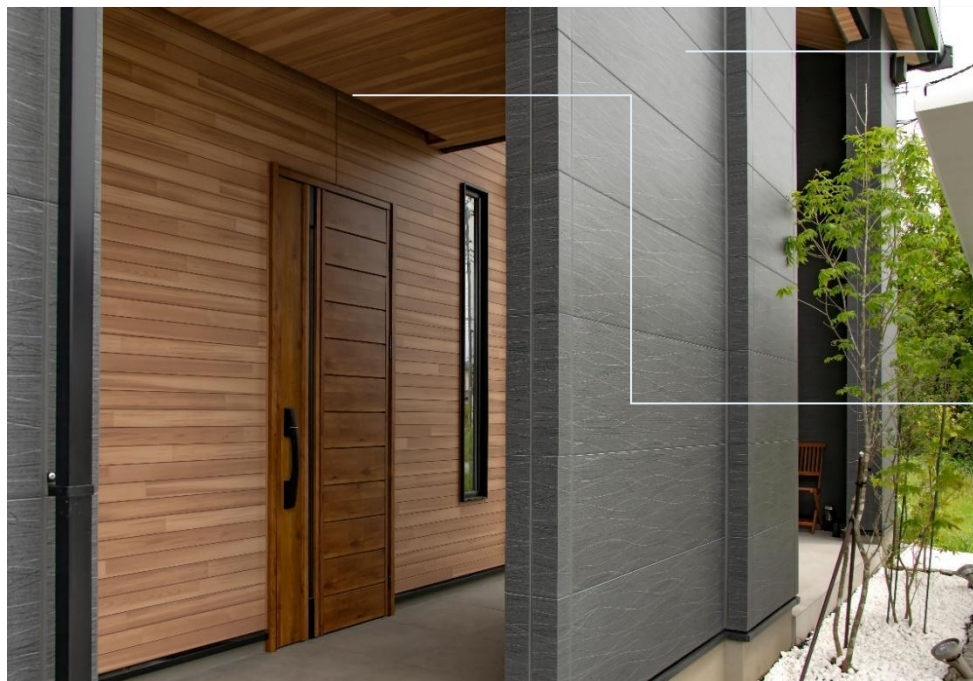
高意匠外壁アルテミュール

木目だけでなく金属・素地調や和柄デザインも展開
癖の無い柄はベースサイディングにも最適



高意匠軒天アルテザート×高意匠外壁アルテミュール

高意匠軒天アルテザートと外壁材アルテミュール
意匠を統一した軒天と外壁でデザインに一体感



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 住宅建材分野

バリエーション多彩な軒天×破風 グッドデザイン賞を複数受賞
意匠だけでなく、省力化や省メンテナンスも追及

木目軒天ラフォーレティンバー×破風ラフォーレグレイス

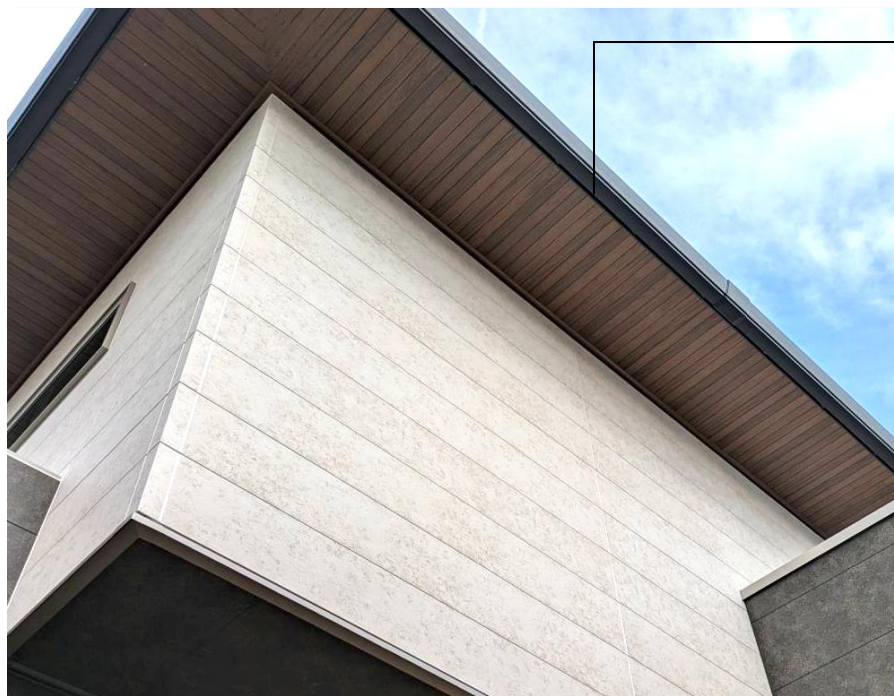
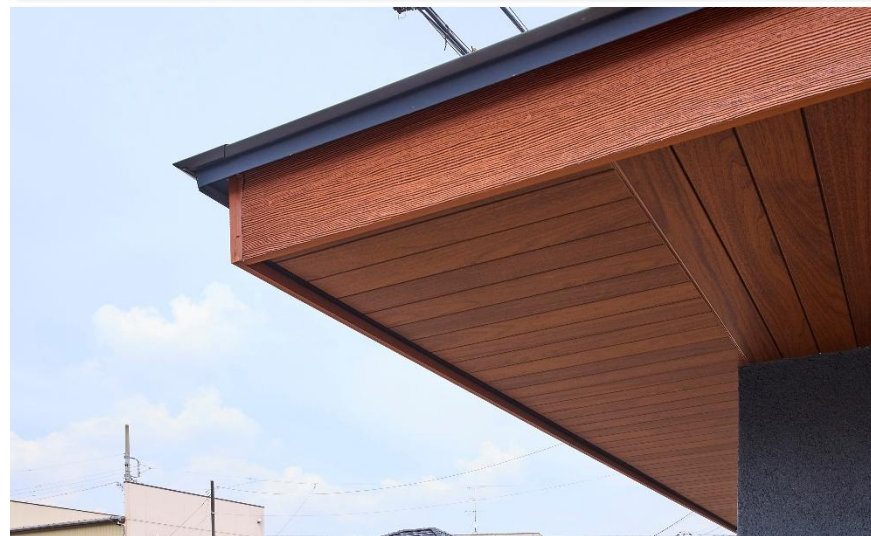
2015年度グッドデザイン賞を受賞

木目軒天流行の先駆けとして隆盛を誇り、今なお根強い人気

高意匠軒天アルテザート×軒天金具工法アトラフィット

2020年度グッドデザイン賞を受賞

省施工と高意匠を実現した画期的組み合わせ



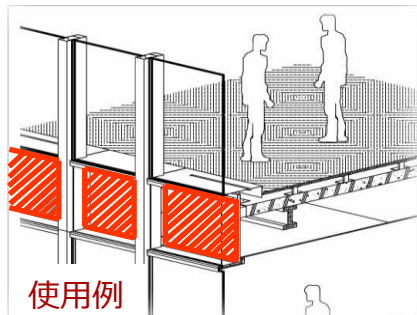
V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■建設建材（非住宅）分野

ソニックライトパネルNAS

ガラスカーテンウォール用耐火バックボード「ソニックライトパネルNAS」

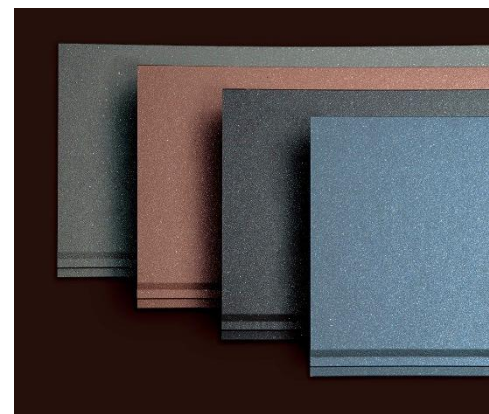
中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズの原板パネルを完全プレカット対応し納入



LAMBDA ラムダ

薄物押出成形セメント板「ラムダ」

高強度が売りの押出成形セメント板(ECP)としては業界最軽量
木目、石目、メタリックなど、様々な塗装で意匠にバリエーション



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 建設建材（非住宅）分野

高意匠軒天アルテザート

非住宅分野にも徐々に浸透、人気の高まりを見せる
大面積で使用されることでインパクトのある仕上がり



 DRESSE CUSTOMIZE  DRESSE PREMIUM

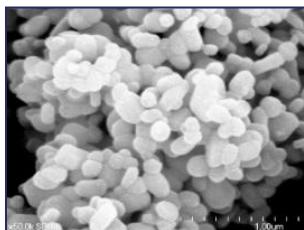
V -1. 当社について【化成品事業-マグネシウム】

◆通常ラインナップ商品

👉『海水法』により、『安価』で『安定供給』可能
天然原料を用い、高品位のマグネシウム化合物を製造



酸化マグネシウム



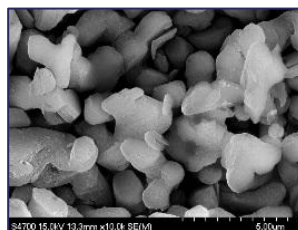
自動車
ゴム部品



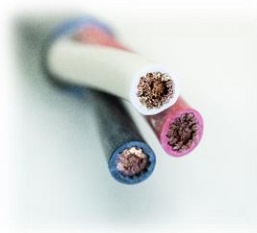
医薬用原薬
ミネラルサプリメント



水酸化マグネシウム



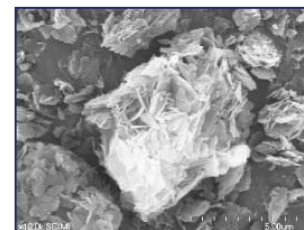
ケーブル被覆充填材



電気電子機器材料



炭酸マグネシウム



天然ゴム充填剤

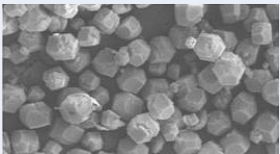
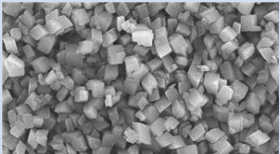
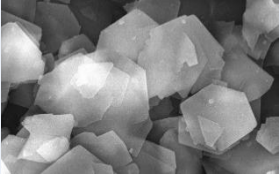
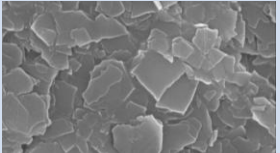
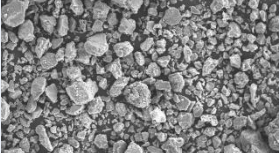


インク



V -1. 当社について【化成品事業-マグネシウム】

◆新規開発品

<p>マグサーモ® (マグネサイト)</p>	<p>MgCO_3</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 比較的高い熱伝導性 ➤ モース硬度3.5(低摩耗性) ➤ 擬球状、紡錘状粒子も有り
<p>アルキューブ® (立方体状ベーマイト)</p>	<p>AlOOH</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熱分解温度500℃ ➤ 難燃性付与可能 ➤ 耐酸・耐アルカリ性
<p>板状ベーマイト</p>	<p>AlOOH</p>		<p>高アスペクト比粒子</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 高分散性、高配向性 ➤ 粒子径小さいものは衝撃強度高い
<p>板状単分散 炭酸マグネシウム</p>	<p>$4\text{MgCO}_3 \cdot \text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$</p>		<p>高アスペクト比粒子</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 汎用品より高い分解温度 ➤ 高分散性、高配向性
<p>重金属吸着材</p>	<p>無機層状化合物</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安全な元素から構成 ➤ 様々な金属種に対応

V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】



◆極低温冷凍機用(GOS)

蓄冷材として使用

◆レーザー用(YAG)

高出力レーザーに使用

◆アイソレータ用(TGG)

高出力レーザーの戻り光抑制に使用

◆蛍光体(Ce:YAG)

高輝度LEDに使用

◆シンチレータ(Ce:YAG/Ce:LuAG)

大型放射光施設などでビームモニターとして活用

V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】

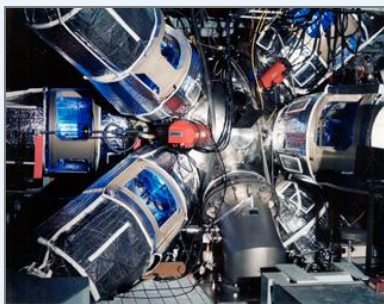
世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータ、センシング、放熱基板、など

レーザーフュージョンエネルギーシステム

重水素と三重水素に強力なレーザーパルスを照射して瞬間的に圧縮(爆縮)させ核融合反応を起こさせて大きなエネルギーとヘリウムを取り出すクリーンな発電システム



ターゲットチャンバー



大出力レーザー用 大型YAGセラミックス



大阪大学 レーザー科学研究所

ビームライン

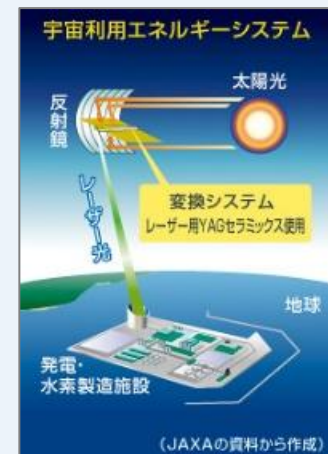
宇宙デブリ除去用レーザー

宇宙空間で昨今問題となっているデブリを、地上からレーザー照射を行い、レーザーアブレーションを起こすことにより、宇宙デブリを地上から処理する検討が進んでいる

※レーザーアブレーション: 物質にレーザーを照射した際、物質がプラズマ化や気化することにより物質表面から放出される現象

宇宙太陽光利用システム (SSPS)

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる
当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた(YAGセラミックス一部使用)



V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】

レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(100Hz)へ

(セラミックスでしか到達できない領域へ)

レーザー核融合発電、クリーン水素製造、宇宙デブリ対策など

人類が直面している問題への解決策の一つとして精力的に開発を検討

世界の開発状況及び販売先

日 本

- ・ 大阪大学レーザー科学研究所の革新的パワーレーザー開発プロジェクト「J-EPoCH」が始動
2022年度からコアユニットとなる100J、100Hzのセラミックスレーザー「SENJU」の開発がスタート
- ・ 国内メーカーやスタートアップ企業数社も国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発中

アメリカ合衆国

- ・ 2022年12月5日にLawrence Livermore研究所にて世界初の核融合の点火に成功し、世界を牽引
レーザー核融合実験で投入レーザー光の1.5倍のエネルギーを取り出すことに成功

EU(欧州連合)

- ・ 連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開
- ・ 世界初の100J級セラミックレーザーを開発、大出力レーザー研究の牽引役となりつつある

すべての過程で進める環境取組み



製造過程



化成品製造時の海水を
淡水化し有効利用



工場の排ガスCO2を
製品へ固定化



製造過程の歩留ロス分を
建材製品へ再利用



流通過程



モーダルシフトの
積極推進



中継基地設置により
ラストワンマイルの短縮



製品軽量化による
排ガスCO2削減



使用過程



プレカット推進による
建築廃材の削減



広域認定による
建築廃材の回収



パレットの回収・再利用

「CO2 ゼロ」を実現する。

KONOSHIMA CO2 RECYCLE PRODUCTION SYSTEM®



GOOD DESIGN AWARD 2024

BEST 100

私たちは地球環境を守るため、2024年に完成した
CO2リサイクルシステムを運用開始し、
ゼロCO2製品の開発に着手しました。

2026年にはCO2リサイクルシステムを活用した製品を、
建材・化成品双方で、量産・販売を開始。

CO2排出量50%削減を目指します。さらに設備を增強し、2030年には
全工場をCO2リサイクルシステムを活用した製品製造へ置き換えることで、
CO2排出ゼロを実現します。